

意義

血液培養は1セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、2セット以上行うことが推奨されている

指標の定義・算出方法

- ・必要データセット：EF ファイル
- ・分子：血液培養オーダー回数
- ・分母：血液培養のオーダー日数(人日)
- ・分子÷分母 (単位：セット)

例：施設 A

患者 ID	レセ電コード	実施日	実施回数=行為回数×使用量 (0 は 1 に変換)
123	160058610	2011/05/15	1
123	160058610	2011/05/15	1
123	160058610	2011/05/25	2
456	160058610	2011/05/30	2
456	160058610	2011/06/15	1
789	160058610	2011/06/15	1

⇒この期間の場合、分母は5、実施回数の合計は8、指標値：平均セット数は1.6

(およそ、60% (1.61) で2セット採取がされていると考えられる)

分母の定義

- 実施日が解析期間のケースを対象とする
- このうち、EF ファイルより下記の血液培養オーダー、1患者1日毎に実施された日数を集計する。同一日に複数のレコードがあっても、1とカウント。

レセ電コード	診療行為名	区分
160058610	細菌培養同定検査 (血液)	D018-3

分子の定義

- 上記血液培養の実施回数を集計期間全体で合計する。
 実施回数は、EF ファイルではEF-7='000' 以外のレコード(F ファイル相当)から集計し、行為回数EF-21×使用量EF-12(ただし、使用量は「0」の場合1として計算)を算出する。
 E ファイルF ファイルが別の場合、F ファイルより使用量F-12を抽出し、それに紐づくE ファイルの行為回数E-15を掛け合わせて算出する。(使用量「0」の場合の処理は同様)

測定上の限界・解釈上の注意

保険診療上算定できない可能性があるため、2セット以上実施されていても、1セットしか入力されていない可能性がある。

算出された値は、1患者1日あたり平均実施セット数。3セット以上のオーダーがほぼないと考える場合、算出された値から1を引いた値が、2セットオーダーを行っている割合に近い値になる。

考察

最大値 1.98、75 パーセンタイル 1.87、中間値 1.77、25 パーセンタイル 1.38、最小値 1.01 でした。

2014年から2015年にかけては中央値が1.53から1.77と改善しており、急速に複数セットの採取が進んでいると考えられます。

複数セットの採取についての負の要因に新生児・小児患者がありますが、標準化に向けては考慮する必要があるかもしれません。一方、民医連のDPC病院は臨床研修指定病院であることが多く、非常に低値の報告があることについては調査が必要だと思います。血液培養の2セット採取が保険として認められたのは2014年からであり、これまで通り、複数セット採取しても1セットのみのレセプトデータとなっていないかどうかとも確認すべきです。また、2セット以上の場合、[感染性心内膜炎]を想定したものであるのかといったところも興味深いデータとなっています。

指標4：血液培養平均実施回数

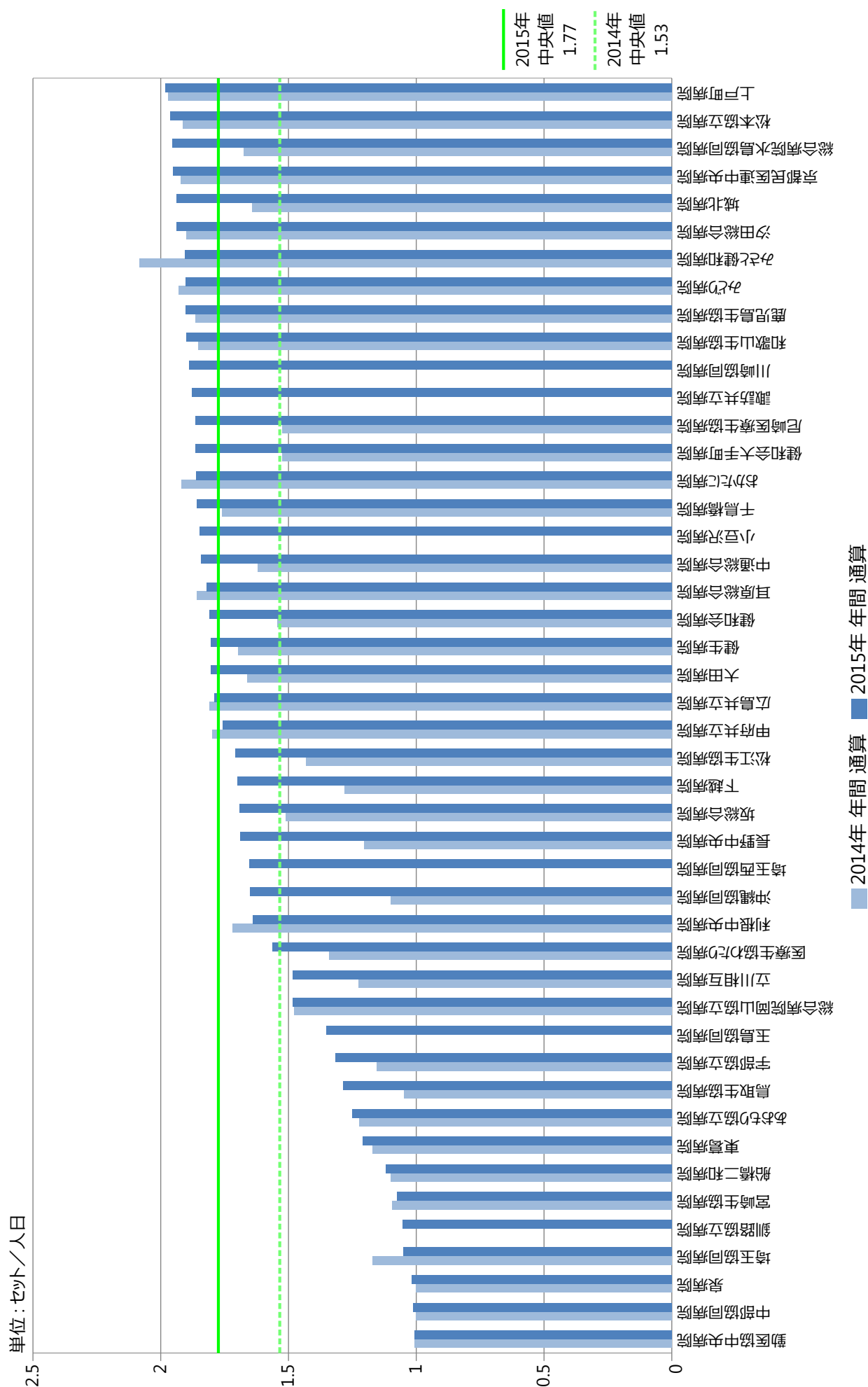
指標4分母：血液培養のオーダー日数（人日）

指標4分子：血液培養オーダー回数

指標4：血液培養平均実施回数

	指標4分母		指標4分子		指標4	
	人日		セット		セット／人日	
	2014年 年間	2015年 年間	2014年 年間	2015年 年間	2014年 年間	2015年 年間
勤医協中央病院	2587	2951	2602	2974	1.01	1.01
釧路協立病院	—	173	—	182	—	1.05
あおもり協立病院	681	769	833	961	1.22	1.25
健生病院	1021	1202	1734	2168	1.70	1.80
坂総合病院	1302	1402	1966	2370	1.51	1.69
泉病院	35	60	35	61	1.00	1.02
中通総合病院	722	1271	1169	2342	1.62	1.84
医療生協わたり病院	422	488	566	763	1.34	1.56
利根中央病院	529	977	909	1602	1.72	1.64
埼玉協同病院	978	1232	1146	1293	1.17	1.05
埼玉西協同病院	—	69	—	114	—	1.65
船橋二和病院	1379	1574	1516	1760	1.10	1.12
みさと健和病院	1055	1244	2197	2370	2.08	1.91
小豆沢病院	—	72	—	133	—	1.85
大田病院	719	990	1195	1785	1.66	1.80
東葛病院	660	765	772	926	1.17	1.21
立川相互病院	1275	1258	1564	1866	1.23	1.48
川崎協同病院	—	477	—	901	—	1.89
汐田総合病院	555	707	1055	1370	1.90	1.94
下越病院	891	1057	1140	1798	1.28	1.70
城北病院	998	1153	1639	2235	1.64	1.94
甲府共立病院	626	410	1126	721	1.80	1.76
長野中央病院	717	789	863	1332	1.20	1.69
健和会病院	226	237	349	429	1.54	1.81
諏訪共立病院	—	41	—	77	—	1.88
松本協立病院	355	389	679	763	1.91	1.96
みどり病院	70	122	135	232	1.93	1.90
京都民医連中央病院	2247	2188	4320	4270	1.92	1.95
耳原総合病院	3237	3223	6014	5865	1.86	1.82
尼崎医療生協病院	428	319	652	595	1.52	1.87
おかたに病院	25	65	48	121	1.92	1.86
和歌山生協病院	453	393	840	747	1.85	1.90
鳥取生協病院	124	199	130	256	1.05	1.29
松江生協病院	474	546	678	932	1.43	1.71
総合病院水島協同病院	495	467	829	913	1.67	1.96
玉島協同病院	—	77	—	104	—	1.35
総合病院岡山協立病院	779	877	1151	1300	1.48	1.48
広島共立病院	314	367	568	657	1.81	1.79
宇部協立病院	58	149	67	196	1.16	1.32
健和会大手町病院	3015	3243	4595	6042	1.52	1.86
千鳥橋病院	1181	1301	2077	2418	1.76	1.86
上戸町病院	203	172	400	341	1.97	1.98
宮崎生協病院	336	423	368	455	1.10	1.08
鹿児島生協病院	565	740	1053	1407	1.86	1.90
沖縄協同病院	4043	4664	4446	7698	1.10	1.65
中部協同病院	24	456	24	461	1.00	1.01
最大値	4043.00	4664.00	6014.00	7698.00	2.08	1.98
75%値	1029.50	1224.50	1582.75	1849.00	1.82	1.87
中央値	643.00	626.50	981.00	929.00	1.53	1.77
25%値	350.25	257.50	567.50	435.50	1.20	1.38
最小値	24.00	41.00	24.00	61.00	1.00	1.01

指標4：血液培養平均実施回数



指標4：血液培養平均実施回数

